

研究発表会開催通知

(昭和 60 年 11 月 15 日～12 月 31 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
自 然 言 語 処 理	11 月 15 日(金)	10 : 00～17 : 00	九 大	前号参照
データベース・システム	11 月 18 日(月)	11 : 00～17 : 00	情 報 大	同 上
設 計 自 動 化	11 月 19 日(火)	13 : 30～17 : 00	商 業 界 会 館	同 上
コンピュータビジョン	11 月 21 日(木)	13 : 00～17 : 30	KDD 研究所	同 上
ソフトウェア工学	11 月 27 日(水)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
計算機アーキテクチャ	12 月 6 日(金)	10 : 00～17 : 00	京 大	下記参照
数 値 解 析	12 月 6 日(金)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
プログラミング言語	12 月 13 日(金)	14 : 00～17 : 00	東 大	同 上
情報システム	12 月 17 日(火)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
記 号 処 理	12 月 20 日(金)	12 : 30～17 : 00	豊 橋 技 科 大	同 上
ソフトウェア基礎論	12 月 20 日(金)	13 : 30～17 : 30	機械振興会館	同 上

◆ 第 52 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数 : 7 件)

(主査 : 飯塚 肇, 幹事 : 大島一純, 坂村 健)

日 時 昭和 60 年 12 月 6 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時

会 場 京都大学工学部 情報工学科 1 階第一講義室

[京都市左京区吉田本町, 国鉄 : 京都駅下車, 市バス : 17 番 (錦林車庫) 百万遍下車, 地下鉄 : 北大路行にて今出川下車, 市バス : 烏丸今出川バス停より 203・201 番にて百万遍下車, Tel. 075 (751) 2111]

議 題 (1) FIFO メモリを使用したプロセッサアレイ方式

小松俊雄 (NTT 情報研)

[概要] さまざまの行列の反復法を対象として, 高速に実行するプロセッサアレイ方式の装置構成, 処理方法, 机上評価を示す.

小特集 : 画像, グラフィクスとコンピュータアーキテクチャ

(2) グラフィクス専用マシンの開発動向 新実治男 (京大・工)

[概要] 3次元グラフィクスのための専用マシンを中心に, 最近の開発動向について概観する.

(3) ベクトル計算機を用いた 3次元陰面消去処理 北井克佳 (京大・工)

[概要] Zバッファ法による陰面消去処理, 付影処理を行った. ベクトル計算機との適応性について述べる.

(4) グラフィクス計算機 SIGHT の基本構成

吉田雅治, 成瀬 正, 高橋時市郎, 内藤誠一郎 (NTT 基礎研)

〔概要〕 光線追跡法的高速実行を目的としたグラフィクス計算機 SIGHT のハードウェア構成について述べる.

(5) グラフィクス制御 VLSI (ACRTC) のアーキテクチャ

桂 晃洋 (日立研究所)

(6) データフロー型 イメージ・パイプラインプロセッサ LSI, ImPP について

松本恵治 (日電)

(7) 高速画像データ転送機能を有する CRT コントローラ

出口雅士 (松下電器)

◆ 第 15 回 数値解析研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 一松 信, 幹事: 唐木幸比古, 名取 亮, 浜田穂積)

日時 昭和 60 年 12 月 6 日 (金) 午後 1 時半~5 時

会場 機械振興会館 地下 3 階 9 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷ー東京タワー線東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議題 (1) 弾性波のシミュレーションと物理的メカニズムの解明

春海佳三郎 (群馬大・工)

〔概要〕 弾性波の数値計算の結果を映画などに図形化して出力することにより物理的機構の解明が可能となることを示す.

(2) スーパーコンピュータ S-810 向け構造解析プログラム ISAS II/HAP

原野紳一郎 (日立)

〔概要〕 S-810 の特徴を生かした構造解析用ソルバの開発について述べる.

(3) 分子の波動関数と大規模数値計算

小杉信博 (東大・理)

〔概要〕 分子の波動関数を求める方法アルゴリズムを紹介し, 大規模な数値計算が必要である実状を説明する.

◆ 第 3 回 プログラミング言語研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 島内剛一, 幹事: 石畑 清, 斉藤信男, 安村通晃)

日時 昭和 60 年 12 月 13 日 (金) 午後 2 時~5 時

会場 東京大学大型計算機センター 講習室

〔文京区弥生 2-11-16, 地下鉄: 千代田線根津駅下車, 徒歩 7 分

Tel. 03 (812) 2111〕

議題 (1) メッセージ交換に基づく並行プログラミングのための支援システムに向けて

真野芳久 (電総研)

〔概要〕 ユーザに親しみ易いインタフェースの下で並行プログラミングを支援するプロトタイプシステムについて述べる.

(2) Code-Generator Generator

三橋二彩子, 佐治信之 (日電)

石川浩之 (日本電気技術情報システム開発)

〔概要〕 コンパイラのコード生成部を自動生成するツールについて報告する. この方式は単純ではあるが効率のよいコンパイラの作成が可能である.

(3) 属性文法形式によるセマンティックス記述の問題点

松田裕幸（日本電気技術情報システム開発）

〔概要〕 属性として表示 (denotation) を許す属性文法形式において

接続 (continuation) まで許した場合の問題点について考察する。

(4) ベクトルプロセッサと FORTRAN ベクトル拡張言語

平林俊弘, 高嶋秀夫 (富士通)

〔概要〕 FORTRAN8X の機能を一部実現したベクトルプロセッサ向けの

FORTRAN ベクトル拡張言語を紹介する。

◆ 第 8 回 情報システム研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 浦 昭二, 幹事: 槻木公一, 柳原一夫, 山本毅雄)

日 時 昭和 60 年 12 月 17 日 (火) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 九大・大型計算機センター案内情報システムの構築

武富 敬, 平野広幸, 石氷結花, 景川耕宇 (九大・大型計算機センター)

〔概要〕 センター利用技術に関する情報の問合せ, プログラム相談を支援する案内情報システムの設計・構築について述べる。

(2) 構造化マトリックスによる給与計算システム

舟木康雄 (富士写真フイルム)

〔概要〕 構造化マトリックスの概念を活用した給与計算プログラムを開発し, システムの保守性の向上を図った。

(3) 有害性調査試験データ処理システム

阿部正信 (日本バイオアッセイ研究センター)

〔概要〕 化学物質の安全使用基準を確立するために行う動物試験におけるデータ処理の方式, 運用, 法的規制などについて述べる。

(4) マルチメディアワークステーション-PIE (Professional's Integrated Environments)

前川 守, 太田昌孝, 荒野高志, 河内谷清久仁 (東大・理)

野口佳一 (CSK総研)

〔概要〕 文字, 図形, 画像, 音などの情報を多次的に, かつ統一的に扱うマルチメディアマシンとして開発した高機能ワークステーション-PIE-の概要について述べる。

◆ 第 37 回 記号処理研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 和田英一, 幹事: 奥乃 博, 寺島元章, 元吉文男)

日 時 昭和 60 年 12 月 20 日 (金) 午後 12 時半～5 時

会 場 豊橋技術科学大学 語学センター中講義室

〔愛知県豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘 1 の 1, 国鉄: 豊橋駅東口前 3 番線乗場から豊鉄バス: 細谷線 (細谷東行又は技科大行に乗車) 技科大前下車 (所要時間約 25 分). Tel. 0532 (47) 0111〕

議 題 (1) 国産数式処理システム GAL におけるパターンマッチング

佐々木建昭 (理研), 元吉文男 (電総研)

〔概要〕 筆者らが開発中の数式処理システム GAL には高度なパターンマッチャを組み込んだ。その概要と数式パターンマッチングの問題点を述べる。

- (2) 2進プログラム領域の記憶管理技法について 寺島元章 (電通大)
 [概要] HLisp の 2 進プログラム領域の効率的な運用のために採用した記憶管理技法について述べる.
- (3) An Interpretation of the Common LOOPS Specification 井田昌之, 内田智史 (青学大)
 [概要] APCL 上での Common LOOPS の試作を通して, 仕様の問題点と仕様の解釈について成果が得られたので報告する.
- (4) 参照カウント法を用いた並列ガーベジ・コレクタの構成法 大井樹成, 脇山俊一郎, 飯田三郎, 楠木菊信 (豊技大・情報工学)
 [概要] 参照カウント法を用いた並列ガーベジ・コレクタのアルゴリズム, 並びにハードウェアによる実現法について報告する.
- (5) 数式処理系 REDUCE を用いた制御系の CAD 斉藤制海, 菅野幹人, 阿部健一 (豊技大・情報工学)
 [概要] 汎用数式処理系 REDUCE を基に非数値で与えられる制御工学の問題にも適用可能な CAD システムについて報告する.
- 研究会終了後データフロー型リスマシンと自然言語・人工知能ロボット等の研究室の見学を予定しています.

◆ 第 15 回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 広瀬 健, 幹事: 佐々政孝, 所真理雄, 新田克己)

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 昭和 60 年 12 月 20 日 (金) 午後 1 時半～5 時半 |
| 会 場 | 機械振興会館 地下 3 階研修 1 号室 (所在地は前記参照) |
| 議 題 | <p>(1) 項書き換えシステムを基礎としたプログラム変換 外山芳人 (NTT 基礎研)
 [概要] プログラム変換の正当性を, 項書き換えシステムの等価変換を利用して証明する.</p> <p>(2) Temporal Prolog—時制論理に基づいた並列論理型言語— 桜川貴司 (京大・数解研)
 [概要] 標記の言語について, 並列性, 待ち合わせ, 相互排除等を容易に表現できるモデルにより形式的意味を与える.</p> <p>(3) OLD resolution with tabulation 玉木久夫 (茨城大・工), 佐藤泰介 (電総研)
 [概要] Prolog の実行モデルとしての OLD resolution に表化技法を適用して無限の探索木を有限にたたみ込む.</p> <p>(4) 論理型言語と関数型言語の関数的統合についての試み 中島秀之, 戸村 哲 (電総研)
 [概要] 論理型言語と関数型言語を統合する関数型言語 Uni を試作した. Uni の言語仕様とセマンティックスについて報告する.</p> <p>(5) 文派自由文法の拡張とそれに基づく計算モデル 山下義行 (日立マイコン), 中田育男 (筑波大・電子・情報)
 [概要] 文派自由な生成規則を用いた形式言語とそれに基づく計算モデルについて述べる.</p> |

◆ 記号処理研究会

第 38 回研究会を 61 年 3 月 10 日（月）於理化学研究所にて、「日本語文字列処理」をテーマにプログラミング言語研究会と合同で開催いたします。

◆ ソフトウェア基礎論研究会・プログラミング言語研究会（合同研究会）

「属性文法」をテーマとする合同研究会を、昭和 61 年 2 月 7 日（金）に慶応大学で開催いたします。

IFIP Congress 86 出席のおすすめ

第 10 回世界コンピュータ会議とも呼ばれる IFIP Congress 86 は、来年 9 月 1 日～5 日にアイルランドの首都ダブリンで開催されます。IFIP の会長国としての日本から多数の参加が期待されております。

当学会としては、参加者の便宜をできるだけ図るため、登録手続きの代行、ホテルの予約は勿論、学会として相応しい見学旅行を盛り込んだ低廉な団体旅行を日本交通公社を Official Agent として計画いたします。詳細は順次本欄または IFIP のページでお知らせしますので、ご参照のうえ、多数の方々が参加されるようご案内いたします。

期 日 1986 年 9 月 1 日(月)～5 日(金)

会 場 Congress: Trinity College, University of Dublin

Exhibition: Royal Dublin Society

参 加 費

	before Feb. 28	before June 13	after June 13
Active Participant	IR£ 350	IR£ 400	IR£ 425
Student	IR£ 75	IR£ 75	IR£ 75
Accompanying Person	IR£ 50	IR£ 50	IR£ 50

(但し IR£≒250 円)

団体旅行(案)

1. 会議出席短期間コース 8 月 30 日(土)～9 月 8 日(月) 10 日間
2. 会議出席と自由滞在コース 8 月 30 日(土)～9 月 13 日(土) 15 日間
(会議出席後の 6 日間は、個人的な大学、
研究所訪問にご利用下さい)
3. 会議出席と視察コース 8 月 30 日(土)～9 月 13 日(土) 15 日間
(会議出席後ヨーロッパの著名な大学、
研究所の視察を予定)

詳細な募集要項は、下記の JTB にお問合せください。

(株)日本交通公社海外旅行虎ノ門支店 国際会議センター IFIP 86 係

(〒105 東京都港区西新橋 1-5-13 Tel. 03 (504) 4010)

論文誌原稿執筆案内の改訂について

最近論文投稿が著しく、来年1月から論文誌を月刊とすることになりました。ますます増加する論文の査読を促進するとともに、より適切な査読を行えるようにするため、2名の査読者による並列査読とし、投稿論文はオリジナルの外にコピー2部を付けることとしましたが、更に図は著者のトレースをそのまま印刷するようにするなど「原稿執筆案内」のうちいくつかの点を改訂いたしました。

つきましては、この改訂された「原稿執筆案内」を前号巻末に掲載いたしましたので、今後は同案内によってご投稿ください。

「グラフィクスと CAD」シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和60年12月4日(水)、5日(木)、6日(金) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

協賛(予定) 日本機械学会、精機学会、計測自動制御学会、電子通信学会、日本建築学会、日本グラフィックデザイナー協会、日本図学会、日本印刷学会、テレビジョン学会、日本ME学会

参 加 費 会員 12,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 6,000 円(協賛学協会員は会員に準ずる。)(論文集のみ 3,500 円、送料 400 円)

申込締切 昭和60年11月20日(水)(定員150名になり次第、締切ります。申込書およびプログラムは前号にあります。)

グラフィクス・ビデオショーの案内

シンポジウムの期間中、グラフィクス最新の作品を機械振興会館研修2号室(地下3階)で上映します。

- 「Feast of Light」 中前栄八郎(広島大)
- 「デモリール」 島村 達雄(白 組)
- 「アンティクスによる作品例」 野本 雄一(日本ユニバック情報システム)
- 「JCGL デモリール '85」 元井 淳一(JCGL)
- 「MRI CG デモリール」 松永 祐一(三菱総研)
- 「CG の放送番組利用」 吉良 健二(NHK)

「アドバンスト・データベース・システム」 シンポジウム開催について

標記シンポジウムに、多数の論文のご応募をいただきありがとうございました。審査の結果、下記要領にて開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いします。

本年度は、3つのサーベイセッションを設け、データベースシステムの新しい方向について要約が行われます。また、恒例のパネルセッションでは、新しい方向の1つであるマルチメディアデータベースシステムについて、各パネリストが、それぞれの立場から問題を提起し、検討を行います。

日 時 昭和60年12月10日(火)、11日(水) 9:30~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

参 加 費 会員 10,000 円、非会員 15,000 円、学生会員 5,000 円
(論文集のみ 2,500 円、送料 300 円)

申込締切 昭和60年11月25日(月)(申込書は前号にあります)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日(12月10日)

開会挨拶(9:30~9:40)

上林 弥彦(九大)

データベースシステムの展望(9:40~11:00)

座長 酒井 博敬(京産大)

「データベースシステムの新しい方向」

上林 弥彦(九大)

Session 1 大規模データベース(11:00~12:00)

座長 大須賀節雄(東大)

招待講演「証券会社におけるデータベースの意義」

戸田 保一(野村コンピュータシステム)

——昼 食(12:00~13:00)——

Session 2 高度応用(13:00~15:15)

座長 真名垣昌夫(日電)

- 統合化利用者視野を提供する垂直分散型 DDS-GOAL

和田 雄次・金森 卓郎・溝口 徹夫(三菱)

- 荷電粒子核反応データベース NRDF とその最近の進展

千葉 正喜・加藤 幾芳・田中 一(北大)

- 地震予知観測情報データベースとその利用システム SEIS

鷹野 澄・額 綱 一起・宮武 隆(東大)・吉田 昌信(日本IBM)

——休 憩(15:15~15:30)——

Session 3 基 礎(15:30~17:00)

座長 牧之内顕文(富士通)

- 要求駆動型制御による関係演算パイプライン処理方式の実現法

清水 康・加藤 和彦・益田 隆司(筑波大)

- CODASYL DBS の論理型言語インタフェース LIP について

滝沢 誠・盛屋 邦彦・伊藤 秀昭(情開協)

第2日(12月11日)

Session 4 インタオペラブルデータベース(9:30~10:30)

座長 滝沢 誠(情開協)

招待講演「大型プロジェクト「電子計算機相互運用データベースシステム」について」

植村 俊亮(電総研)

Session 5 マルチメディア 1(10:30~12:00)

座長 増永 良文(情報大)

- ドキュメント画像システムの開発と利用実験

小川 隆一・大町 隆夫・高島 洋典・臼淵 徹(日電)

- カラー画像データベースシステム

洪 政国・六川 修一(日本IBM)

——昼 食 (12:00~13:00) ——

Session 6 マルチメディア 2 (13:00~14:30)

座長 田中 克己 (神戸大)

- 地図情報エキスパートシステム GENTLE

嶋田 茂・江尻 正員 (日 立)

- リレーショナル DBMS をベースにした実験的マルチメディア DBMS

尹 博道 (富士通)・Lorenzo Aguilar, Jose Garcia-Luna (SRI International)

——休 憩 (14:30~14:45) ——

Session 7 パネル討論 (14:45~17:00)

「マルチメディアデータベースシステム」

司会 穂鷹 良介 (筑波大)

パネリスト 川越 恭二 (日 電)・大町 一彦 (日 立)・牧之内顕文 (富士通)

増永 良文 (情報大)・小島 功 (電総研)

新刊「日本のコンピュータの歴史」会員特価について

このたび標記の歴史書が、歴史特別委員会 (委員長 高橋 茂) 編纂でオーム社から発行されました。会員に限り特価で来年1月末までお頒けします。学会においでの際に直接に求められるか、下記によりお申込みください。

記

会員特価: 3,000 円 (定価 3,500 円) (但し 送料込み)

申込方法: 学会事務局宛に、氏名、送付先を明記のうえ、現金書留か、郵便振替でご送金ください。口座番号は本号 1,442 ページにあります。なお、銀行送金は入金確認に手間がかかりますので、なるべくご遠慮ください。

「コンピュータ・システム」シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

記

日 時 昭和60年12月17日(火)、18日(水) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)
参 加 費 会員 10,000 円(非会員 15,000 円) 学生会員 5,000 円
(論文集のみ 2,500 円, 送料 300 円)
申込締切 昭和60年12月2日(月)(申込書は前号にあります)。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日(12月17日)

基調講演(9:05~9:20)

「コンピュータ・システムの技術動向」

益田 隆司(筑波大)

特別講演(9:20~10:05)

「コンピュータ・システムの新傾向」

石田 晴久(東大)

——休憩(10:05~10:15)——

招待講演(10:15~11:00)

「スーパーコンピュータ・アーキテクチャとその動向」

堀越 彌(日立)

セッション1 汎用機およびスーパーコンピュータ(11:00~12:00)

座長 村松 洋(富士通)

●スーパーコンピュータの演算性能評価とアルゴリズムの評価について

島崎 眞昭(京大)

●ACOS 大規模高速疎結合システム

飯田 秀樹・海老野正雄・正井 輝彦・関野 陽(日電)

——昼食(12:00~13:00)——

セッション2 性能評価(13:00~14:00)

座長 高木 英明(日本IBM)

●コンピュータシステムの資源管理方式と処理効率

亀田 壽夫(電通大)

●コンピュータ・システム性能評価用パッケージの開発過程とその使用実績

紀 一誠(日電)

セッション3 分散システム, ネットワーク(14:00~14:50)

座長 山本 喜一(慶大)

●分散型個人用計算環境のためのUNIXの自然な拡張

—プログラムの再利用性を重視した分散型OSへの接近法—

宇津宮孝一(九大)

●Junet とその管理機能

村井 純(東工大)・田中 啓介(上智大)

——休憩(14:50~15:00)——

セッション4 パネル討論(15:00~17:00)

「コンピュータ・システムの今後に期待すること」

司会 関野 陽(日電)

パネリスト: 小高 俊彦(日立)・後藤 英一(東大)・田中 穂積(東工大)

星野 力(筑波大)・村井 純(東工大)

第2日(12月18日)

招待講演(9:00~9:45)

「ソフトウェア開発支援環境構築技術の動向」

岸田 孝一(SRA)

——休憩(9:45~9:55)——

セッション5 プログラミング環境(9:55~11:45)

座長 野口健一郎(日立)

- タスクを含む ADA プログラムの開発環境

荒木啓二郎・程 京徳・牛島 和夫 (九 大)

- Smalltalk-80 の環境拡張についての試み

松永 義文・上林 憲行・羽生田栄一 (富士ゼロックス)

- SIMPOS—逐次型推論マシン PSI の OS—

石橋 弘義 (ICOT)

- COSMOS: 対話型統合的プログラミング・システム

佐藤 豊・板野 肯三 (筑波大)

——昼 食 (11:45~12:45) ——

特別講演 (12:45~13:30)

「知識処理システムへの展望」

大須賀節雄 (東 大)

セッション 6 人工知能用ソフトウェア・システム (13:30~14:50)

座長 溝口 徹夫 (三 菱)

- Common Lisp とその処理系について

湯浅 太一 (京 大)

- 推論マシン CHI とそのプログラミング環境

山本 昌弘 (日 電)

- FACOM α のガーベージ・コレクション方式

丹羽 雅司 (富士通研)

——休 憩 (14:50~15:00) ——

セッション 7 パーソナル・システム, OA (15:00~17:00)

座長 曾和 将容 (群馬大)

- 研究者用計算機センターにおける電子メール・ボックス・システムについて

金澤 正憲・平野 彰雄 (京 大)

- ワークステーション向き OS の開発

田胡 和哉・高野 陽介・益田 隆司 (筑波大)

- 個人用操作系の未来像

多田 好克 (電通大)

- 文書処理技術の動向

斉藤 信男・水場 英世 (慶 大)

- UNIX 環境下での日本語処理

中原 康 (東 芝)

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

第 36 回 自動制御講習会「知識工学のシステム制御への応用」

昭和 61 年 2 月 3 日(月)~4 日(火)

大阪科学技術センター

昭和 61 年 2 月 13 日(木)~14 日(金)

東京・ダイヤモンド社 10 階ホール

OEC 86—1ts Optoelectronics Conference

1986 年 7 月 29 日(火)~31 日(木)

東京工業大学大岡山校舎

* 詳細は本号会議案内欄参照

「第 27 回プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書（コピーでも可）に記入の上、お申し込みください。

本シンポジウムの趣旨から、とくに「情報処理関連分野で多くの経験のある方、またはこれに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある方」の参加を希望します。

記

日 時 1986 年 1 月 8 日(水) 午前 10 時 受付開始 (この日の昼食は用意しません)。

午後 1 時 30 分 開会

1 月 10 日(金) 午後 1 時 散会

場 所 箱根ホテル小涌園 (神奈川県足柄郡箱根町二の平 1297) Tel. (0460) 2-4111

交 通 路線バス：小田原駅表口<登山バス>箱根町行～小涌園前 約 40 分

箱根湯本駅～小涌園前 約 30 分

タクシー：小田原駅表口～小涌園前 約 30 分

箱根湯本駅～小涌園前 約 20 分

参 加 費 (予稿集代、宿泊費を含む。カッコ内は非会員参加費)

☆大学院学生 18,000 円 (20,000 円)

☆大学助手以上

研究所関係者 25,000 円 (28,000 円)

☆会社関係者 35,000 円 (40,000 円)

* 2 つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1985 年 11 月 30 日(土) (申込書は前号にあります)。

- 注) 1. 参加申し込み後、やむを得ず参加を取り消す場合は、12 月 20 日までにお願いします。取り消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めます。
2. 会場、宿泊設備の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整ください。
4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 1 月 8 日(水)

○開会の辞 (13:30~13:45)

委 員 長

セッション 1 (13:45~14:45)

- OPS 5 が提供するプログラミング・パラダイムと実行効率について 戸沢 義夫 (日本 IBM)
- 論理型言語における explicit な否定知識 中川 裕志 (横浜国大)

—— 休 憩 (14:45~15:15) ——

セッション 2 (15:15~17:00)

- (And/Or 木 U ガード) のデータフロー C GHC 栗原 正仁 (北 大)
- 行為とリーダー・ライタの仕様表現

水谷 哲也・辻 尚史・細野 千春・五十嵐 滋 (筑波大)

- 夏のシンポジウム報告 和田 英一 (東 大)

- 若手の会報告 松田 英雄 (神戸大)

- GPCC 報告
- 山内賞報告

竹内 郁雄 (NTT)
山内記念会

——夕 食 (18:00~19:30) ——

○自由討論, マイコンデモ (19:30~)

第2日 1月9日(木)

セッション 3 (9:00~10:30)

- 汝のユーザを知れ 一人間中心のシステム・デザインへ向けて—

高嶋 孝明・加藤 隆 (日本IBM)

- 演算子文法用汎用構造エディタ

佐藤 裕幸・坂井 公 (ICOT)

- 多層テキスト構造を持つ日本語エディタ

角田 博保 (電通大)

——休 憩 (10:30~11:00) ——

セッション 4 (11:00~12:00)

- UNIX 上で動く ASCII キーボードを使った日本語エディタの作成

小川 貴英 (津田塾大)

- 変換型日本語ワープロ向き打鍵レベル模型

木村 泉・粕川 正充 (東工大)

——昼 食 (12:00~13:30) ——

セッション 5 (13:30~15:00)

- 確率モデルに基づく言語処理へのアプローチ

藤崎哲之助 (日本IBM)

- ★招待講演「川柳が理解できるか計算機」

水谷 静夫 (東京女子大)

——休 憩 (15:00~15:30) ——

セッション 6 (15:30~17:00)

- メインフレーム・コンピュータにおけるCプログラム開発環境

安達 淳・木村 友則・村尾 裕一・石田 晴久 (東大)

- UTILISP の Macintosh への移植. その苦難の道のり

湯浅 敬・金子 敬一 (東大)

- 分散システム上の高品質文書処理環境における問題

小暮 博道・村井 純 (東工大)

——夕 食 (18:00~19:30) ——

○自由討論, マイコンデモ (19:30~)

第3日 1月10日(金)

セッション 7 (9:00~10:30)

- コンピュータに「絵」を描かせるには……

斎藤 隆文 (東大)

- ピアノ演奏のコンピュータ分析とその自動演奏への応用

小川 亮一・三好 和憲・五十嵐 滋 (筑波大)

- ドキュメンテーション・エンジニアリングによるマニュアル作成

根岸 寛明・吉田 哲三 (富士通)

——休 憩 (10:30~11:00) ——

セッション 8 (11:00~12:00)

- 情報処理部門の意識改革の試み

—プロトタイピングによるスケジュール管理システムの開発を例に—

堀内 広蔵・寺野 隆雄 (電中研)・佐藤 隆・宇佐川雄士 (中国電力)

- 国産数式処理システム GAL の開発

佐々木建昭 (理研)・元吉 文男 (電総研)

○閉会の辞 (12:00~12:15)

委員長

——昼 食 (12:15~13:30) ——

※自由討論, ポスタセッション, マイコンのデモなどをおこないます. 参加ご希望の方はご用意ください.

講演は発表 20 分, 討論 10 分です. 招待講演については講演 45 分, 質問 15 分を予定しています.

「VLSI CAD への知識工学の応用」

シンポジウム開催のお知らせ

7月号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを下記の通り開催いたします。詳しいプログラムについては12月号に掲載いたします。なお、定員に制限がありますので早目にお申込みください。

記

日 時 昭和61年1月28日(火) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

プログラム

- 論文発表(6件)
- パネル討論「VLSI CAD への知識工学の応用—実現への課題と期待—」
司会 上原 貴夫(富士通研)

参加費 会員 6,000円(非会員 9,000円) 学生会員 3,000円
(論文集のみ 2,500円, 送料 300円)

申込締切 昭和61年1月13日(月)(定員150名になり次第締切ります)。

.....き り と り.....

「VLSI CAD への知識工学の応用」シンポジウム

参 加 申 込 書

昭和60年 月 日
申込者 氏名 _____ 会員 No. _____
連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____
_____ Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費(該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 6,000円 非会員 9,000円 学生会員 3,000円

○論文集のみ(2,500円, 送料300円) 冊

○送金方法 _____円を_____月_____日送金します(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込(いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店	1013945	富士銀行虎ノ門支店	993632
三菱銀行虎ノ門支店	0000608	三井銀行本店	4298739
住友銀行虎ノ門支店	10899	三和銀行虎ノ門東京公務部	21409

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)
請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人として下さい(この用紙のコピーで可)。

支 部 だ よ り

関 西 支 部

支 部 大 会 案 内

期 日 昭和 60 年 12 月 13 日(金) 10:00~16:40

会 場 (財)関西情報センター会議室

参加費 無 料

申込・問合せ先

〒530 大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際貿易センタービル 4F

(財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (448) 6630 (直)

~~~~~プ ロ グ ラ ム~~~~~

支部長あいさつ (10:00~10:05)

西田富士夫 (大阪府立大)

講演 (1) (10:05~11:05)

Σ システムについて

秋間 升 (IPA)

研究会報告 (11:05~12:05)

数値解析研究会

一松 信 (京 大)

ソフトウェア研究会

北川 一 (豊田工大)

システムソルビング研究会

石桁 正士 (大阪電通大)

講演 (2) (13:00~14:00)

第5世代コンピュータ (仮題)

古川 康一 (ICOT)

パネル討論 (14:10~16:40)

期待されるスーパーコンピュータ

司会 島崎 眞昭 (京 大)

ースーパーコンピュータの応用範囲はどこまで広がるかー

パネリスト 津田 孝夫(京 大), 河辺 俊(日 立), 田子 精男(富士通)

原田 紀夫(日 電), 関谷 全(阪 大)

東 北 支 部

第2回 研 究 会

期 日 昭和 60 年 12 月初旬

会 場 岩手大学工学部 (盛岡市上田 4-3-5)

発表論文 6~7 件の予定 (1 件 30 分程度)

問合せ先 岩手大学工学部情報工学科 横山 隆三 Tel. 0196 (23) 5171 (内 2657)

研究会終了後に懇親会を予定

東北支部だよりの送付について

支部会員には標記支部だよりを発行(年 10 回程度)のつど郵送しております。これまで受取ったことのない支部会員は下記にご連絡ください。

東北大学情報処理教育センター 川添 良幸 Tel. 0222 (21) 5967

九 州 支 部

第6回講演会

期 日 昭和60年11月27日(水) 15:20~16:50
会 場 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階)
演 題 機械翻訳研究の変遷と動向 田町 常夫(九大)
参 加 費 無 料
問合せ先 九州大学中央計数施設内 情報処理学会 九州支部 Tel. 092 (641) 1101(内 5985)

中 部 支 部

講演会(その1)

期 日 昭和60年11月20日(水) 13:30~15:30
会 場 福井大学工学部(福井市文京 3-9-1)
演 題 ローカルエリアネットワークの動向と異機種接続 新 孝弘(住友電工)
参 加 費 無 料(参加資格は問いません).
問合せ先 福井大学工学部情報工学科 渡辺勝正 Tel. 0776 (23) 0500 (内 827)

講演会(その2)

期 日 昭和60年11月27日(水) 9:30~16:10
会 場 名古屋市公会堂(昭和区鶴舞 1-1-3 Tel. 052 (731) 7191)
演 題 最近の光エレクトロニクスと光応用計測 梅野 正義(名工大)ほか3名
参 加 費 会員(協賛を含む)8,000円, 非会員10,000円, 学生2,000円
問合せ先 名古屋大学工学部 情報工学教室内 情報処理学会 中部支部
Tel. 052 (781) 5111 (内 5803)

講演会(その3)

期 日 昭和60年11月28日(木) 15:00~17:00
会 場 名古屋工業大学電気情報工学科教室
演 題 衛星放送について 仁尾 浩一, 島岡 淳(NHK技研)
参 加 費 無 料(参加資格は問いません).
問合せ先 同 上

講演会(その4)

期 日 昭和60年12月11日(水) 13:30~16:30
会 場 名古屋大学大型計算機センター新館4階演習室
演 題 エキスパート・システムの基礎と実際
エキスパート・システムとは 豊田 順一(阪大)
エキスパート・システムの構築について 溝口 文雄(東理大)
参 加 費 無 料(参加資格は問いません).
問合せ先 同 上

講演会 (その5)

期 日 昭和 60 年 12 月 13 日 (金) 12:45~14:15
会 場 金澤工業大学 5・101 室 (石川県石川郡野々市町扇ヶ丘 7-1)
演 題 知能情報処理の現状と動向 雨宮 真人 (NTT 基礎研)
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません).
問合せ先 金澤工業大学 情報処理工学科 加久間 勝 Tel. 0762 (48) 1100

講演会 (その6)

期 日 昭和 60 年 12 月 14 日 (土) 15:00~16:30
会 場 豊橋技術科学大学
演 題 A Unified Theory of Program Schemes and Context-Free (Word and Graph) Grammars Prof. Bruno COURCELLE (Universite de Bordeaux I)
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません).
問合せ先 名古屋大学 工学部情報工学科 第2講座内 Tel. 052(781)5111 内線 5803

中国四国支部

専門講習会

——ニューメディアとデータベース——

期 日 昭和 60 年 11 月 29 日 (金)
会 場 伊予鉄会館 (松山市一番町 Tel. 0899 (48) 3456)
参 加 費 会員 5,000 円, 学生 2,000 円, 非会員 6,000 円
共催学協会会員は会員資格があります (いずれもテキスト代を含む).
定 員 70 名 (申込方法およびプログラムは前号にあります).

研 究 会

——並列計算機と並列処理——

期 日 昭和 61 年 1 月 14 日 (火) 15:00~18:00
会 場 徳島大学工学部情報工学科会議室 (徳島市南常三島町 2-1)
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません).
議 題

(1) 68000 による二進木計算機の開発

吉谷 文徳, 松尾 賢二, 高橋 義造 (徳島大)

(2) マルチマイクロプロセッサ β -16 のアセンブリ言語

井上 倫夫, 小林 康浩 (鳥取大)

(3) 高度並列処理計算機への試み

相原 玲二, 松本 裕, 山下 史文, 阿江 忠 (広島大)

(4) 雑音に強い分散型連想記憶の構成と評価

村上 研二, 泉田 正則, 相原 恒博 (愛媛大)

(5) アレイプロセッサ NEBULA による並列計算

吉尾 武, 遠藤 俊雄, 高橋 義造 (徳島大)

(6) 二進木マシン CORAL '83 上での Prolog の並列処理

井上 勝博, 高橋 義造 (徳島大)

問合せ先 徳島大学工学部情報工学科 高橋 義造 Tel. 0886 (23) 2311 (内 4741)